

# 「封筒 7 枚！かんたん家計管理術」

## 成功への7か条

### 1 家計簿のイメージを捨てる

家計簿は、使った結果を記録しますが、その後はどうしていますか？そこが問題なのです。記録して現状がわかったら、次のステップに進まなければ意味がありません。この封筒分けは、1 か月間で今の状態を調べ、その後は、改善点を検討しながら予算を立てていきます。そしてその予算でとにかく実行してみます。ポイントは最初の 1 か月間、とにかくがんばって現状を確認してみること。家計の現況に合わせて予算を立て、封筒に分けてしまえば、あとは細かい作業は必要ありません。実行あるのみです！

### 2 細かな数字にこだわらない

「3 円合わないよ～」家計簿つけている人から 1 円単位が合わなくなったのがきっかけで、やめてしまったという声を聞きますが、家計管理ではそこまでこだわる必要はありません。それよりも、費目の偏りなど家計の大きな傾向を把握することが大切。“木を見て森を見ず”になっていませんか？

### 3 自分流のやりかたを見つける

封筒分けも一つの方法。でも、自分流のやり方をぜひ見つけてください。封筒分けを自分流にアレンジしてみるのもよし、パソコンを使える人はエクセルなどを使って、いろいろ工夫してみるのもいいですね。

### 4 ピンチのときこそ家族会議

家計管理にとっては子どもも戦力です。「子どもからのアドバイスにドキ！」なんてこともあるかもしれません。ピンチのときこそ、問題を共有して、みんなと一緒に乗り切ることが大切です。家族の連帯感がものをいいます。

## 5

### 節約に聖域なし

聖域とは、「手を触れてはならない領域」ということですが、家計の節約には聖域といったものはありません。たとえば、教育費は絶対に削れない。はたしてそうでしょうか。たしかに子供の将来を考えたとき、あれも大事、これも大事と考えるのはもったもなことです。でも、教育費にも優先順位がありますので、段階をおって計画をたてることも大切。それに、収入の範囲で学費がねん出できないのなら進路変更も視野に入れ、状況が整うまで考えなおすことも必要かもしれません。教育費によって、借金がふえ多重債務におちいる家庭があるのも現実です。

## 6

### 家計の生活習慣病を探す

日々の暮らしの中で、習慣化してしまい、まずいと思いながらもそのままになっていることってありませんか？たとえば、小さなことですが、“誰もいないのに部屋の電気がつけっぱなし”、“歯磨きのときの水の出しっぱなし”、“安売りとどうしても買いすぎてしまい、結局は無駄にしてしまう”など。探してみるといろいろありそうですが、これすべて家計の生活習慣病といえます。ちょっとした工夫や気持の持ち方で、かなり改善できることがあるのではないですか？家計の生活習慣病、探してみましよう。

## 7

### いざというときのために使えるお金をとりあえず貯める

仕事が減っても生活が息詰まらないように、「いざという時のお金」をあらかじめ貯蓄しておきましょう。当たり前のことですが、どうしても日々の暮らしに流されてしまうと、「なんとかなるさ！」ってことになってしまいがち。そこで、その分を見越して少し多めに7番目の封筒に先取り貯金をしましょう。もちろん、節約でためたお金も大切ですし、嬉しいものですが、まず目標のお金を最初に入れてしまい、それ以外で予算を立てます。くれぐれも、借金で凌ぐなんてことにならないよう注意したいもの。